

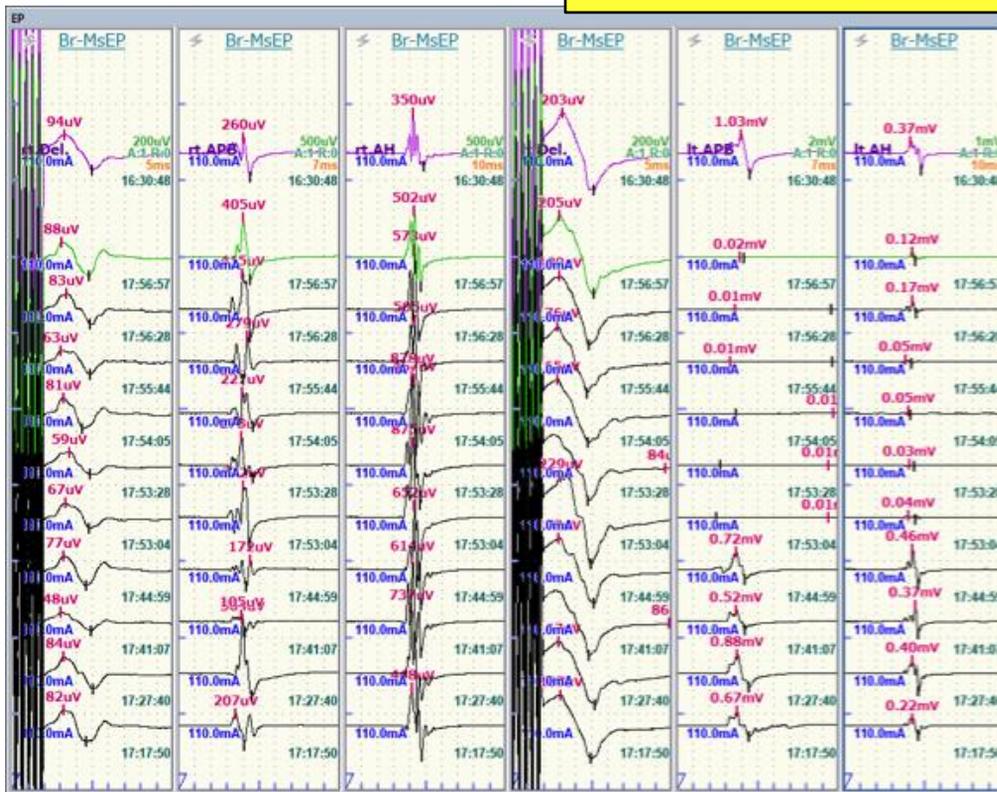
Patient Information

ID	####	主治医	XXX
性別	女性	検者	XXX
年齢	45歳	手術日	##年 ##月 ##日
診断および術式	頸椎症性脊髄症、後方固定術を併用した頸椎椎弓形成術		
Comment	<p><u>記録電位</u> MEP</p> <p><u>記録部位 (モニタージュ)</u> MEP: 上肢: 三角筋 (左右)、短拇指外転筋(左右) 下肢: 母趾外転筋 (左右)</p> <p><u>所見</u> 頸椎インスツルメンテーションによる固定操作で左母指外転筋の電位が記録出来なくなり(No1, 17時53分)、インスツルメントによる固定を緩めるとMEPが記録できるようになり(No2, 18時16分)、その位置で再固定した。手術終了時には電位が回復した。</p> <p><u>判定</u> 頸椎インスツルメンテーション操作による一過性の脊髄障害。レスキュー症例。</p>		

赤字で示した箇所の明記が必須です。

MEP (No 1)

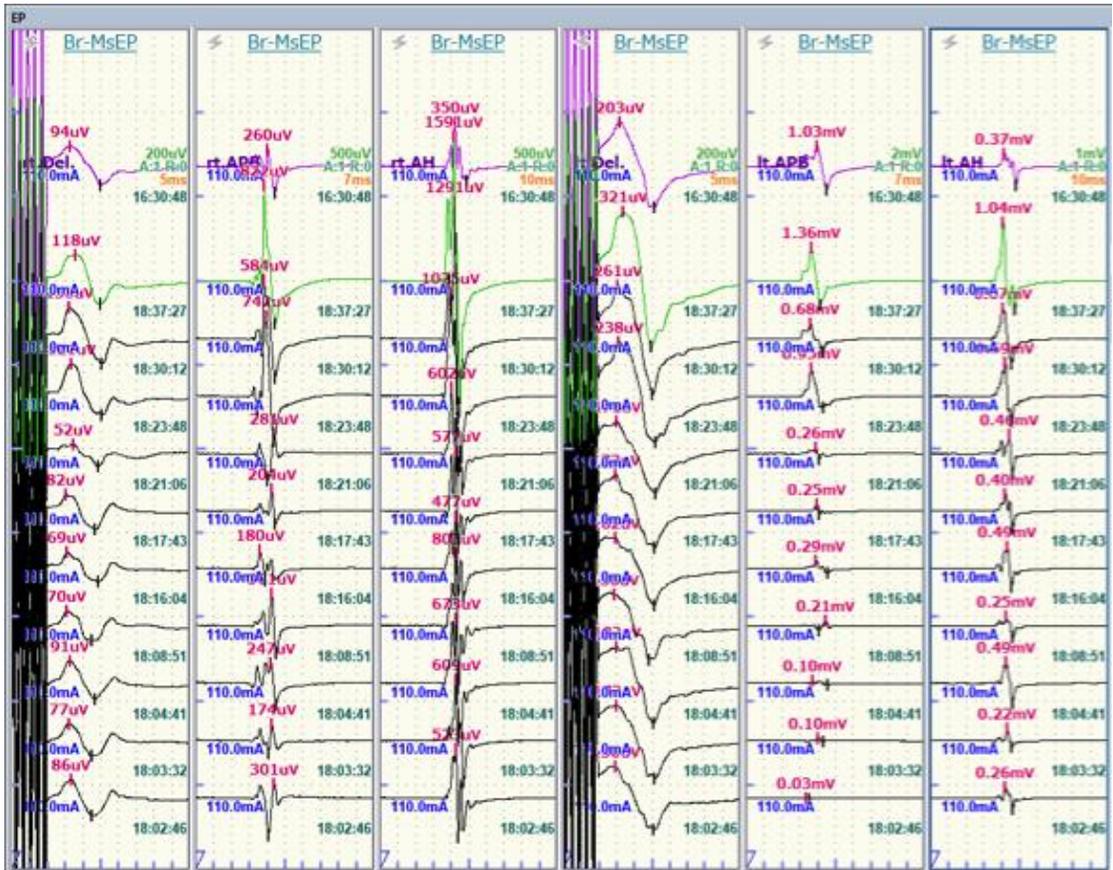
被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。



申請者の署名 (記名) が必要です。

MEP (No 2)

被検筋、スケールが記載された記録を提出するか 全白に明記してください



申請者の署名 (記名) が必要です.

Signature ○ × △ □